

## 「ビルメンITの裏側」

人手不足等の解決策としてDXやITが着目されています。本コラムではあえて「IT導入失敗の理由」を挙げる事で、皆様のIT利用の成功に貢献できればと考えております。

連載 ⑪

株式会社 安井ファシリティーズ

ビジネス創造部 部長 伊藤 士

情報処理技術者ITストラテジスト



IT導入したが業務定着していない現場に数多く遭遇してきた経験から、建築業界(特に維持保全)向け情報管理改善サービス「パノラマmemo」の事業を立ち上げる。ビルメンテナンス業界からの相談は100件を超える。

たり遅刻すると会社の皆にバレしてしまうからです。

システムも然りで、しっかり使わせたいなら、必ずチェックする仕組みを設けてください。使っていない人がいたら、皆に見えるようにするのもポイントです。

②使わなかった時の被害を拡大させる  
勤怠入力や出張時の交通費清算の手続きが私はとても苦手です。しかし、ちゃんと入力しないと給料や交通費が会社から振り込まれない!まさにやらなかったときの被害が拡大していきます。この仕組みをシステムにも応

用します。

例として「設備不具合が起きた時は紙の報告書に加え、新システムにもデータ入力する」というIT導入例を挙げます。

紙では修繕履歴・残存不具合の確認が大変...という問題への、よくある対策です。でも実際は、紙の報告は来るのにシステムには登録されない...という現場が殆どです。

今まで受理されていた紙の報告書まで出せなくなってしまうのを避けるため、仕方なくシステム登録が進む。

以上がITが使われない時の対策です。ご覧の通り、強引なのでやり過ぎ注意ですが、かといって対策しなすぎもNGです。

## IT導入してもなかなか使われない

### そんな時の過激な対策2点

「誰でも使える簡単なシステムが、誰にも使われない簡単な理由」という記事を第1回目に書きました。今回は、この

「誰でも使える簡単なシステムが、誰にも使われない簡単な理由」という記事

「実は簡単じゃない」という話をよく聞きます。

この業界に20年

「実は簡単じゃない

聞きます。

なぜなら、サポート

た。今度も使える簡単なシステムが、誰にも使われない簡単な理由」という記事を第1回目に書きました。今回は、この

聞きます。

かった...なんてケースはさておき、本当に簡単でも、それだけで普及するほどIT導入は簡単ではありません。この原因については第1回の記事で記載しました。そこで今回は強めの対策を2点紹介します。

①使ったかどうか確認する

会社に毎日通勤する方も多いと思います。朝起きて寝癖をなおし替えて電車で会社へ移動...とても面倒ですが皆ちゃんと通勤しますよね。

そんな時は、「紙での報告後システム登録する」という流れから、「先にシステム登録しないと、紙の報告は受理しない」という流れに逆転させます。すると、

見落としがちな注意点...それはIT導入策が間違っていた場合に、「無駄な事を強制する」失敗の拡大という流れです。

例えば無駄な業務でも、習慣化するとなかなか止められない...良くある話です